

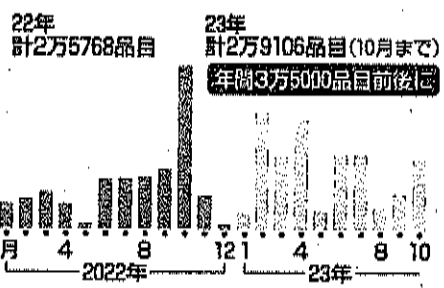
前年比1万品増と予想

原料高、円安で価格転嫁

帝国データバンクは30日、2023年の食品の値上げが3万5千品目前後に達し、値上げラッシュとなった22年通年の2万5768品目を大幅に上回るとの予想を発表した。原材料高を価格転嫁する動きに加え、輸入物価を押し上げる円安も進行し、30日の円相場は7カ月半ぶりに一時1ドル145円台を付けた。値上げ加速で家計への負担は重くなる。強まる消費者の生活防衛志向を反映した価格据え置きや、値下げも一部は出ている。

【9月1日関係記事】23年の値上げは10月までに2万9106品目となり、22年通年を超える見通しだ。5月末時点の調査では、23年の値上げ品目数は2万5768品目だった。10月に日本酒やワインなどが値上げされることになり、品目数が積み上がった。6月は調味料やカンパネなど5581品目が値上がりした。エスシー食品の「テールロシヨ」やチュールプアリの「本生本わさび」、日清食品の「カンヌマート」などが値上がりした。7月の値上げは3566品目で、前年同月の約1.5倍に上る。値上げ品目の4割超を占めるのがパン製品だ。業務用小麦粉価格が上昇したことで、数層製パンは食パン「塩焼」や菓子パン「おひひばり」や「パン」などひびきパンや「パン」や「パン」は「本仕込食パン」などを値上げする。8月は「モーニング」や「パン」などを中心に、同様に値上げする。

【9月1日関係記事】23年の値上げは10月までに2万9106品目となり、22年通年を超える見通しだ。5月末時点の調査では、23年の値上げ品目数は2万5768品目だった。10月に日本酒やワインなどが値上げされることになり、品目数が積み上がった。6月は調味料やカンパネなど5581品目が値上がりした。エスシー食品の「テールロシヨ」やチュールプアリの「本生本わさび」、日清食品の「カンヌマート」などが値上がりした。7月の値上げは3566品目で、前年同月の約1.5倍に上る。値上げ品目の4割超を占めるのがパン製品だ。業務用小麦粉価格が上昇したことで、数層製パンは食パン「塩焼」や菓子パン「おひひばり」や「パン」などひびきパンや「パン」は「本仕込食パン」などを値上げする。8月は「モーニング」や「パン」などを中心に、同様に値上げする。



9月はチョコレートなど1688の品目が増える。一連の値上げの理由として最も多かったのが原材料高だった。次いでエネルギー価格高騰、包装・資材価格の上昇が続いた。11月以降の値上げ品目は8月をめぐり判明する見通し。増加を見込む一方、売上げ伸び悩みを懸念した価格据え置きや、値下げの食品は既に千品目以上ある。日清製粉ウェルナはパスタの主力商品「マ・マー」シリーズの10品目を9月の納品分から上げると、帝国データバンクの担当者は「値上げ一辺倒だった22年と様相は異なっている」と説明した。

【9月1日関係記事】23年の値上げは10月までに2万9106品目となり、22年通年を超える見通しだ。5月末時点の調査では、23年の値上げ品目数は2万5768品目だった。10月に日本酒やワインなどが値上げされることになり、品目数が積み上がった。6月は調味料やカンパネなど5581品目が値上がりした。エスシー食品の「テールロシヨ」やチュールプアリの「本生本わさび」、日清食品の「カンヌマート」などが値上がりした。7月の値上げは3566品目で、前年同月の約1.5倍に上る。値上げ品目の4割超を占めるのがパン製品だ。業務用小麦粉価格が上昇したことで、数層製パンは食パン「塩焼」や菓子パン「おひひばり」や「パン」などひびきパンや「パン」は「本仕込食パン」などを値上げする。8月は「モーニング」や「パン」などを中心に、同様に値上げする。